



実はこんな人だった!?
意外と〇〇〇な偉人たち

今回の偉人

てづがおきむ
手塚治虫

第一回目は、「鉄腕アトム」や「ブラックジャック」などの生みの親、『手塚治虫』の意外な一面をご紹介します。

手塚氏が生涯に残した作品数は604作品で、原稿用紙15万枚にも及びます。これは1日7ページ書いたとしても60年かかる量で、ひとりの著者が残した最も多い作品数としてギネスにも登録されています。

そんな手塚氏の多大な制作意欲を支えたのが“負けず嫌い”な性格です。例えば1960年代半ば、水木しげる氏の『ゲゲゲの鬼太郎』がヒットした後、1967年に『どろろ』を制作しました。この作品が水木氏への対抗心から産み出されていたことは、『どろろ』のあとがきの記載からも読み取れます。

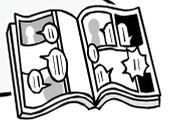
『ぼくは人一倍負けん気が強く、ある作家がヒットをとばすと、おれだっておれなりに描けるんだぞ!』という気持ちで、同じジャンルのものに手を出すおかしな癖があります』

また、手塚氏の多忙っぷりにも様々なエピソードがあるので

いくつかご紹介しましょう。「鉄腕アトム」が大ヒットとなったとき、手塚氏はあまりの忙しさに腹を立て、自身が社長であることを忘れ「労働組合を作ろう」と言い出してしまったそうです。

さらに、映画監督のスタンリー・キューブリック氏から、『2001年宇宙の旅』の美術デザイナーとしてオファーされた際、手塚氏は経営が大変な時期で「ボクには260人ほど食わせねばならない家族(社員)がいるので」と断りました。するとキューブリック氏から「そんなにたくさんのご家族がいて大変でしょう」と、本当に260人も家族がいると誤解した返事が送られてきたそうです。手塚氏の多忙な日々から誕生したユニークなエピソードですね。

このように人間味を感じさせる一面こそ、手塚氏を「マンガの神様」とたらしめた所以^{ゆえん}かもしれません。



危ない！フッ素の危険性



皆さん、ご家庭の歯磨き粉は何を使われていますか？

普段使われているほとんどの歯磨き粉の中にはフッ素が含まれています。

そのフッ素…実は**毒性があり、私たちの体に危険を及ぼしているのです！**

毎日歯磨き粉で使われているフッ素は少しずつですが、**脳にある松果体にどんどん蓄積され、石灰化していきます。**そうすることによって、**脳の機能を停止させてしまうのです。**

石灰化するとまず、**脳神経に影響を与え、ホルモンの分泌機能が停止します。**その他にも**アルツハイマー・老化・睡眠障害・子供の多動症、学習障害**などが報告されています！



この事実から上田歯科ではフッ素の使用を止め、**体に一切害がない物を使用しています。**

詳しいことはお気軽にスタッフまで(´▽`)♪